

bike+outdoor 及びドレスデン市内自転車店調査報告

平成24年2月28日

1. bike+outdoor (ドレスデン自転車展)

ドイツ東部のドレスデンにて、消費者向け自転車及びアウトドア用品展「bike+outdoor」が健康生活用品展「aktiv+vital」と共に開催された。

【bike+outdoor】

主催： MESSE DRESDEN GmbH

会場： ドレスデン国際見本市会場

会期： 2012年2月3日(金)～5日(日) 10:00～18:00

使用ホール： bike+outdoor; ホール1及び2 計11,000㎡
aktiv+vital; ホール3及び4 計10,000㎡

入場者数： 12,000人 ※2展合計

出展者数： bike+outdoor; 80社、aktiv+vital; 200社



ドレスデン国際見本市会場



自転車出展ホールの様子

見本市会場はドレスデン中央駅から路面電車で20分程の場所にある。大小4つのホールからなり、2展で全てのホールが利用されていた。bike+outdoorでは、自転車以外にも他のアウトドアスポーツ用品が展示されていたが、出展の主役はあくまでも自転車関連商品であった。自転車関連企業は最大のホール1に集中していたが、ホールが自転車関連の出展者で全て満たされていたわけではなく、ホールの3分の1程度は自転車試乗コーナーやイベントコーナー等の共用スペースに割かれていた。訪問時、会場は多くの来場者で盛況であったが、平日の午前中のため高齢者や課外学習で来たと思われる生徒たちの集団が目についた。本来、対象となる自転車をよく利用するサイクリストや青年男性層は少ない印象を受けた。

自転車関連の主要出展者は数社の地域の有力小売店のブースであった。各ブースでは多種多様の完成車、部品及び付属品を揃えていた。ドイツ各地に広がる共同購入組合の加盟店の

場合、取扱う品目は必然的に似通った構成となり、東部地域の特色が色濃いブランドや商品構成は今回あまり見られなかった。

各出展者とも、特に EPAC の出展に注力しており、EPAC が展示会の目玉となっていたが、主な EPAC ブランドは、ラレー、ダイヤモンド、ヘラクレス、ジャイアント、ステッペンウルフ及び R&M 等であった。また、エクストラエナジーが運営する試乗コースには EPAC が 20 台程揃い、パンサーやハイバイクのスポーツ車タイプの高額な EPAC も見られ、来場者が熱心に試乗する姿も見られた。ドイツの EPAC ブームの中で、やや出遅れ感のあった東部地域でも、同車種への関心が高まりつつある様子も伺えた。



自転車小売店の出展ブース



電動アシスト自転車（左；ステッペンウルフ 右；ダイヤモンド）

このような自転車を含むアウトドア用品展、もしくは複数分野を併せた消費生活用品の地方展示会は、冬季間、ドイツ各地の消費者を対象に頻繁に開催されている。それら地方展では「自転車」は欠かせない項目となっている状況からも、自転車への消費者需要の高さが伺われる。現在、ドイツは財政や経済状況が安定しているとされるが、今後の南欧の情勢により、欧州危機がどのような影響をもたらすかは不透明である。しかし、ドイツは欧州最大の市場規模を誇り、現在、EPAC 販売増により堅調に推移している。同国市場の変化を今後も注視していくことは、欧州全体の動向を知る上で大変重要である。

次回も共同開催の形式で会期を3月に戻し、2013年3月8～10日に開催予定である。

2. ドレスデン市内自転車小売店調査【調査実施日：平成24年2月3日(金)】

調査店舗①

最初にドレスデン中央駅から近郊電車を1駅目で下車し、徒歩数分の場所にあるスポーツ車を得意とする中規模店を訪問した。同店はドレスデン市内等、合計3店舗を展開している。1階はダイヤモンドのシティ、トレッキング車が30台程と部品、付属品売り場。2階はスポーツ車中心の売り場で、取扱ブランドはキューブとスティーブンスを中心に価格帯は700～2,000ユーロ(73,500～210,000円)と幅広い。その他、スコット、トレック、キャノンデール、ラピエール及びBMC等、高級スポーツ車ブランドを多く揃う。

調査店舗②

次は店舗①の最寄り駅からバスで5分ほど移動し、ドイツ東部地域を中心に全国11都市22展開する自転車小売店チェーンの店舗を訪問した。店内の売り場は広々としており、シティ車とトレッキング車だけでもフォーカスやカルクホフを中心に100台以上あり、価格帯は300～1,000ユーロ(31,500～105,000円)と幅広い。それらのフレームカラーは黒が大半を占めていた。また、MTB、ロードバイク等のスポーツ車はスペシャライズドやフォーカスを主体に70台程あり、価格帯は300～1,000ユーロ(31,500～105,000円)であった。更に2,000ユーロ(210,000円)前後の高額なものも揃っていた。電動アシスト自転車(EPAC)はカルクホフが7台あり、価格帯は1,400～1,800ユーロ(147,000～189,000円)である。その他、子供車や幼児車、部品、付属品も充実し、駐車場も完備した大型店舗であった。



調査店舗①



調査店舗②

調査店舗③

続いてバスで10分移動して、インターネット販売を行う企業の実店舗を訪問した。1階は部品や付属品売り場で2階のスポーツ車売り場に100台程が並ぶ。取扱ブランドはシンプルオンを中心に、スコット、コルナゴ、ビアンキ等があり、価格帯は1,000～2,000ユーロ(105,000～210,000円)と総じて高額なものが多く、2,000ユーロ(210,000円)以上のものも見られる。EPACはスコットのスポーツ車タイプが2台あり、価格は3,000ユーロ(315,000円)を超える。店内に廉価なシティ車等は全く見られず、同店は高額なスポーツ車に特化した専門性のかな

り高い店舗であった。

調査店舗④

一旦、中央駅に戻り路面電車で 20 分程の住宅街の小型店舗を訪問した。駐車スペースも 3 台あり。シティ車、トレッキング車はダイヤモンドを中心に MAX CYCLES や VELO de VILLE 等も見られる。スポーツ車では MTB はトレック、ロードバイクはトレックとリドレーが数台陳列されていた。また、屋外には 300 ユーロ (31,500 円) 前後の廉価な子供車や MTB 類型車が 30 台程並んでいた。



調査店舗③



調査店舗④

調査店舗⑤

最後に再度中央駅に戻り別の路面電車で 20 分程の住宅街にある小型店舗を訪問した。シティ車、トレッキング車ではビィノーラやダイヤモンドが中心。店頭にはビィノーラのトレッキング車が 3 台並ぶ。スポーツ車ではトレックやカナダブランドのロッキーマウンテンなどもあり、同ブランドの高額な前後サスペンション付き MTB も展示されていた。



調査店舗⑤



以上

(国際業務部)